

滝といふ長く引き伸ばされしもの
詳細はまだ滝壺の渦の中
太陽は地球の夏至にかかはらず
電柱の影と猛暑のアスファルト
ゴーゴーにエレキテケテケ夏の星
玄関に立たされてゐる梅雨の傘
片蔭の途中冷房出入り口
滝白く自由落下といふ快樂
水に生れ滝を落ちゆく快樂かな
水に生れ滝を落ちゆく縁かな
空気との摩擦激しや大瀑布
サイエンス・フィクション、ゼリーを崩しつ
水晶は硬くゼリーは柔らかく
透きとほる短き匙でゼリー食ふ
なすがまま匙に割かるゼリーかな
ダイヤモンドよりも大きなゼリーなり
音もなく固まつてゆくゼリーかな

昨夜から寝かせて朝のゼリーかな
あのころのゼリーのアルミカップなり
もう立つてをれぬゼリーを匙で押す
孤島にはあらず大きなビヤホール
缶ビール6缶パツクロング缶
ビール飲み干せとも杯を空けよとも
噴水は大きな雲になりたくて
新茶の香選句用紙の廻り来る
新茶出て古茶に残れる日数かな
新茶出て古茶に残りし日数かな
汲み分くる新茶最後の雫かな
東西の新茶・紅茶や帝國の
梅干して玉の面影なかりけり
角夢の世の蚊の腹に血が透けて見ゆ
金齒なり金魚すくひのをぢさんは
恨み辛みの涙の化けし海月かな
肉声のうすもいろいろの蚯蚓かな

幼年期終らんとして柿若葉
朝露に濡れて重たし濃紫陽花
黴の部屋腐つてゐるは私かな

滝といふ長く引き伸ばされし水	ひらく音をさめる音の扇子かな	孤島にはあらず大きなビヤホール
電柱の影と猛暑のアスファルト	きつぱりとをさめる音の扇子かな	缶ビール6缶パックロング缶
ゴーゴーにエレキテケテケ夏の星	水晶は硬くゼリーは柔らかく	ビール飲み干せとも杯を空けよとも
ゴーゴーとエレキ合戦夏の浜	空想科学小説内のゼリー冷ゆ	噴水のなき公園の若葉かな
日時計の影のからくり炎天下	なすがまま匙に割かるるゼリーかな	新茶出て古茶に残れる日数かな
炎天の青を極めし空の色	音もなく固まつてゆくゼリーかな	新茶出て古茶に残りし日数かな
炎天のガスの火の色空の色	サイエンス・フィクション、ゼリーを崩しつ	歳月に苛まれたる裸かな
滝壺の中は詳細不明なり	昨夜から寝かせて朝のゼリーかな	ドアを開け冷房冷氣ビルを出づ
水に生れ滝を落ちゆく快樂かな	あこのろのゼリーのアルミカップなり	金歯なり金魚すくひのをぢさんは
滝白く自由落下といふ快樂	もう立つてをれぬゼリーを匙で押す	恨み辛みの涙の化けし海月かな
水に生れ滝を落ちゆく縁かな	透きとほる短き匙でゼリー食ふ	肉声のうすもいろいろの蚯蚓かな
空気との摩擦激しや大瀑布	土砂降りの日差しは傘で跳ね返せ	朝露に濡れて重たし濃紫陽花